



スーパースポーツ三昧。



イベントも盛りだくさん!

当日は賞品をかけたジャンケン大会や記念撮影などの他にも、モータースポットクルーズが主催するツーリングクラブ、"クラブクルーズ"の結成式も行なわれた。これからはイベントなど色々な活動が予定されているということなので、興味のある人は是非お問合せを!



希少車だからこそ。



参加者の愛車チェック



MOTOR SPOT CRUISE Second Touring

欧州車のスペシャルショップ、モータースポットクルーズ。彼らが主催するツーリングが5月27日に行なわれ、スーパースポーツを愛するオーナーが阿蘇に集結した。

Club Meeting
in Oita
27th May.2001

2

モータースポットクルーズ
☎0940-32-9800

URL: <http://www.ms-cruise.com/>

5月27日、欧州車のスペシャルショップとしてお馴染みの"モータースポットクルーズ"が主催する2回目のイベント、"セカンドツーリング"が九州は大分、熊本を舞台に華々しく開催された。当日の天気はあいにくの雨模様。しかし、集合場所には、V8フェラーリから、F40、F50、ランボルギーニ・ディアブロといった普段なかなかお目にかかれないスーパースポーツまでが勢揃いした。雨により台数は減ってしまったが、それでもズラリと並んだ光景は、まさに壮観のひとつだ。クルマを降りた

参加者達は、まるで美術品を鑑賞するかのよう、スーパースポーツに見入っていた。モータースポットクルーズの田中氏の挨拶でイベントがスタート。ランチを取りながら、しばしスーパーカー談義を楽しみ、ジャンケン大会、そしてクラブ結成式、記念撮影の後は、いよいよメインイベントのツーリングだ。阿蘇大観峰を目指して、エキゾーストを響かせながらスーパースポーツが次々と走りぬけて行く。目的地に着く頃には雨も上がり、スーパースポーツを堪能した大満足の1日は静かに幕を降ろした。

BMW / ALPINA Kansai Owner's MEETING

Club Meeting
in Biwako
18th Feb.2001

3

アルピナという特別なメイクスに魅せられたオーナーが集まった今回のミーティング。希少車とはいえ、16台ものアルピナが琵琶湖に集まった。

ALPINA Club関西事務局
☎090-9055-3478(中西)

希少車に乗っているものにとって、同じクルマに乗る仲間と街中ですれ違うということは、ほとんどありえない。そのクルマを愛すれば愛するほど、素晴らしいなどを誰かと共有したくなるものだ。そう、クルマを通じた仲間が欲しくなるのである。しかし、冒頭にも書いたように、今まではまわりに仲間がいない場合は、ひとりでそのクルマを楽しむしかなかったのだ。そんな中、インターネットやショップを通じて、そのクルマの魅力を多くの仲間と分かち合う希少車オーナーも増えてきた。特にインターネットの普及によって、ネット上にはありとあらゆる車種のホームページが誕生し、そこを中心に沢山のオーナーが情報交換や、ツーリングの企画など、クルマを媒介としたコミュニケーションを展開しているのだ。

今回紹介するBMW/ALPINA関西オーナーズミーティングもそんな、希少車を楽しむオーナーの集まりである。こちらのクラブはインターネットというよりも、ショップなどをとおしたオーナー同士の横のつながりを大切にしているとのことである。

全国規模というよりも、関西圏を中心に、愛知、さらには関東からの遠征組を含めた16台が、集合場所となる名神高速、栗東インター出口に集まった。E30、E36型3シリーズをベースとしたアルピナB6シリーズが中心だが、中には日本に数台しかないという珍しいマシンも参加していた。

今回のツーリングの目的地は、琵琶湖沿いの"鮎家の郷"。琵琶湖を横目に見ながらツーリングがスタート。湖を囲むように連なる色とりどりのアルピナの姿は壮観のヒトコトだ。目的地に到着後は、広いパーキングスペースに、シリーズ毎にクルマを並べ撮影大会。昼食をとりながら、自己紹介を済ませた後は、日頃のうっぴんを晴らすかのように、アルピナ談義がそこかしこで花を咲かせていた。初対面の人が多かったにも関わらず、すぐに打ち解けられたのは、同じクルマを愛しているからだだろうか?

楽しい時間はあっという間に過ぎ、夕暮れが近づくとともに、自由解散となった。オーナー同士が声を掛け合って実現した今回のツーリング、今後も年一回のペースで定期的に続けて行きたいとのことである。